
基礎看護学特論

Fundamental Nursing Theories

1 年次前期・選択

2 単位・30 時間

水 田 真由美 教授

坂 本 由希子 准教授

【概要・目標】

看護学における主要概念を検討し、看護学の特質について探求する。また、看護過程における問題の明確化（看護診断）—成果—介入の一連の論理的作業について学ぶとともに、中範囲理論を用いて体系的知識を深める。さらに、質の高い看護ケアを提供するために、看護技術のあり方・評価等について理解を深める。

【授業内容・スケジュール】

(担当)

- | | | |
|--------|--|----|
| 1) | 看護学について（講義）
（看護学の特質について） | 水田 |
| 2) | 看護学の主要概念について（演習）
（メタパラダイムについての討議） | 水田 |
| 3) | 看護過程と中範囲理論（講義） | 坂本 |
| 4・5) | 中範囲理論（演習）
（学生の関心のある中範囲理論と活用についての討議） | 坂本 |
| 6) | EBN (Evidence Based Nursing)（講義）
（EBM、EBN、EBP について） | 水田 |
| 7・8) | 看護技術と評価方法（講義・演習） | 坂本 |
| 9・10) | 看護技術の科学的検証（演習）
（学生の関心のある看護技術の評価方法およびエビデンスについての討議） | 坂本 |
| 11) | 文献クリティーク（講義）
（看護技術に関する論文のクリティークの方法と実際） | 水田 |
| 12・13) | 文献クリティーク（演習）
（グループワークによる学生の関心のある論文のクリティーク） | 水田 |
| 14・15) | まとめ：基礎看護学特論での学び（演習） | 水田 |
-

【評価】

討議等の参加態度（30%）、プレゼンテーションの発表（30%）、課題の成果物（40%）

※評価責任者 水田真由美

【テキスト】特になし

【推薦参考図書】適宜紹介する。

【その他】

演習は、学生主体によるプレゼンテーションおよびディスカッションを行う

連絡先：mizuta-nc@wakayama-med. ac. jp（水田）

sakamoto-nc@wakayama-med. ac. jp（坂本）